

メッセージ題「復活の主がそこに」 <先週の講壇より>

「彼女はこう言ってから、うしろを振り向いた。すると、イエスが立っておられるのを見た。」
ヨハネ 20 : 14 【新改訳】

先週の日曜午後、教会のパーキングで近所の子供が自転車の練習をしていました。まだ乗り始めて間もない様子で、補助輪を付けてもヨロヨロしています。お父さんは励ましながら、でも心配で、自転車の後ろをしっかりと掴んでいます。それでもその子は心配でなかなか走り出そうとはしませんが、そのうち前を向いてペダルをこぎ出しました。そして「どうだい、ボクだってちゃんと乗れるんだよ」と得意げな顔で風を切って走るほどになりました。でも実は、まだお父さんは自転車の後ろをしっかりと掴み、その子が転ばないようにしていたのです。

子供はそれに気づかず、あたかも自分の力で走っているように思っている。でも気づかないけど、ちゃんとお父さんが後ろにいて、その子を支え、導いていた。これはちょうど、私たちの人生のように思えました。復活の主がそこにいるのに、マグダラのマリアは気づかなかった。私たちも、時にそんなことがあるかも知れません。嘆き、痛み、悲しみが深いと、イエス様の姿を見失ってしまうのです。でも覚えてください、私は知らなくても、気づかなくても、よみがえられたお方は私と共にいてくださるのだということ。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



< 主の祈り >

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるし給え。我らを試みに会わず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

< 使徒信条 >

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを裁き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2022 年 4 月 24 日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



[教会年間聖句]

「それは平和の計画であつて、災いの計画ではない。将来と希望を与えるものである。」

エレミヤ 29 : 11

☆集會案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:40
ブレイク : 10:45-11:00
バイスタ : 11:00-12:00
みふみ会 : (水) 10:00-
定例祈禱会 : (水) 18:30-

